

---

---

# 淀川水系 猪名川上流ブロックの 流域の概要について

---

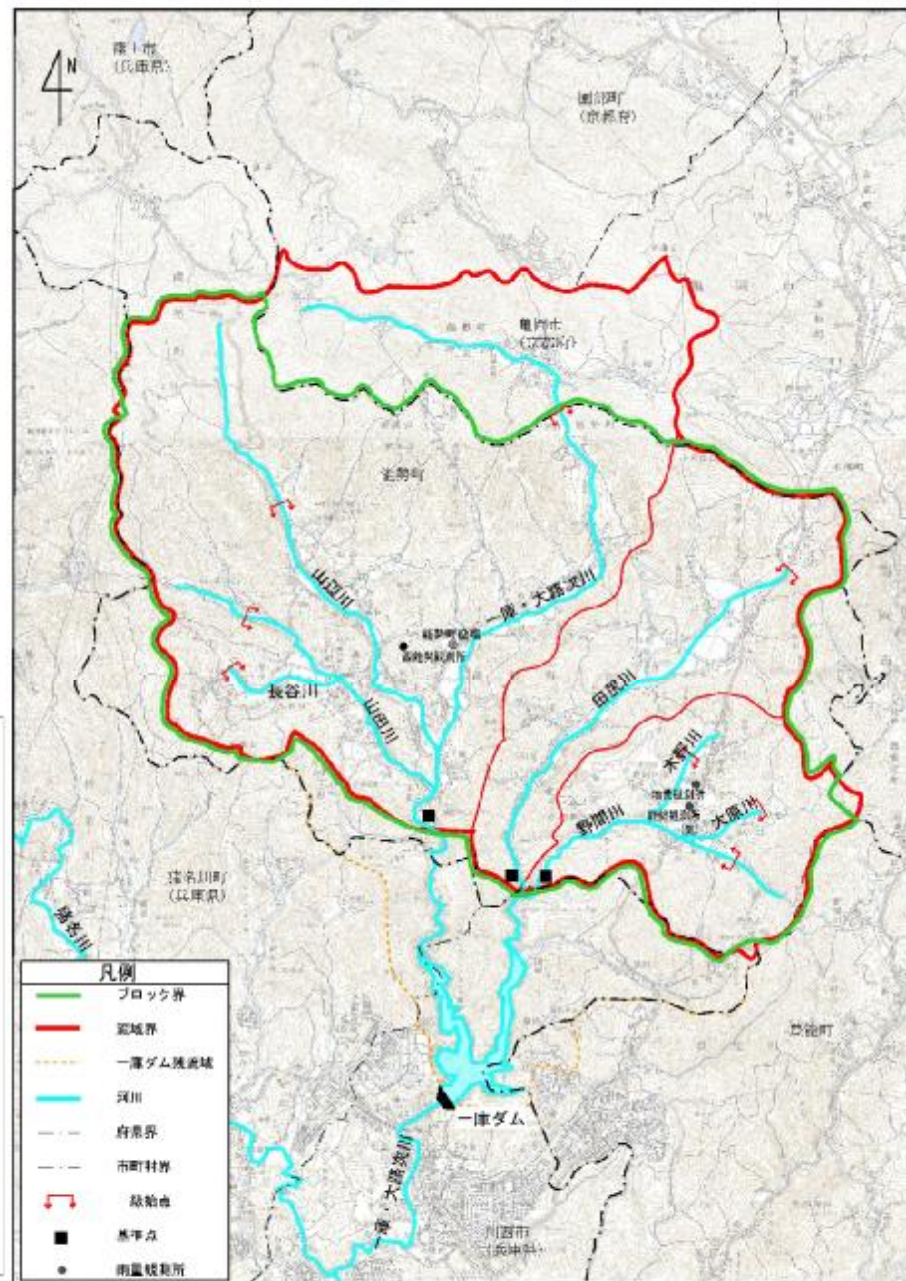
---

# 1.猪名川上流ブロックの現状（(1)ブロックの特徴）

- 猪名川上流ブロックは8河川で構成
- 一庫ダム上流の河川で構成される。
- 流域のほとんどが市街化調整区域。府の中でも、のどかな農村空間の広がる豊かな自然環境が残された地域
- 流域面積の大部分を占める能勢町の人口は平成26年9月末現在で約1.1万人
- 流域内の主要交通  
 国道173号、国道477号、府道茨木能勢線、府道亀岡能勢線

## 猪名川上流ブロック対象河川一覧

河川名	延長(km)
一庫大路次川	10.4
田尻川	8.3
山田川	4.7
山辺川	5.5
野間川	4.1
長谷川	2.3
木野川	1.9
大原川	1.5



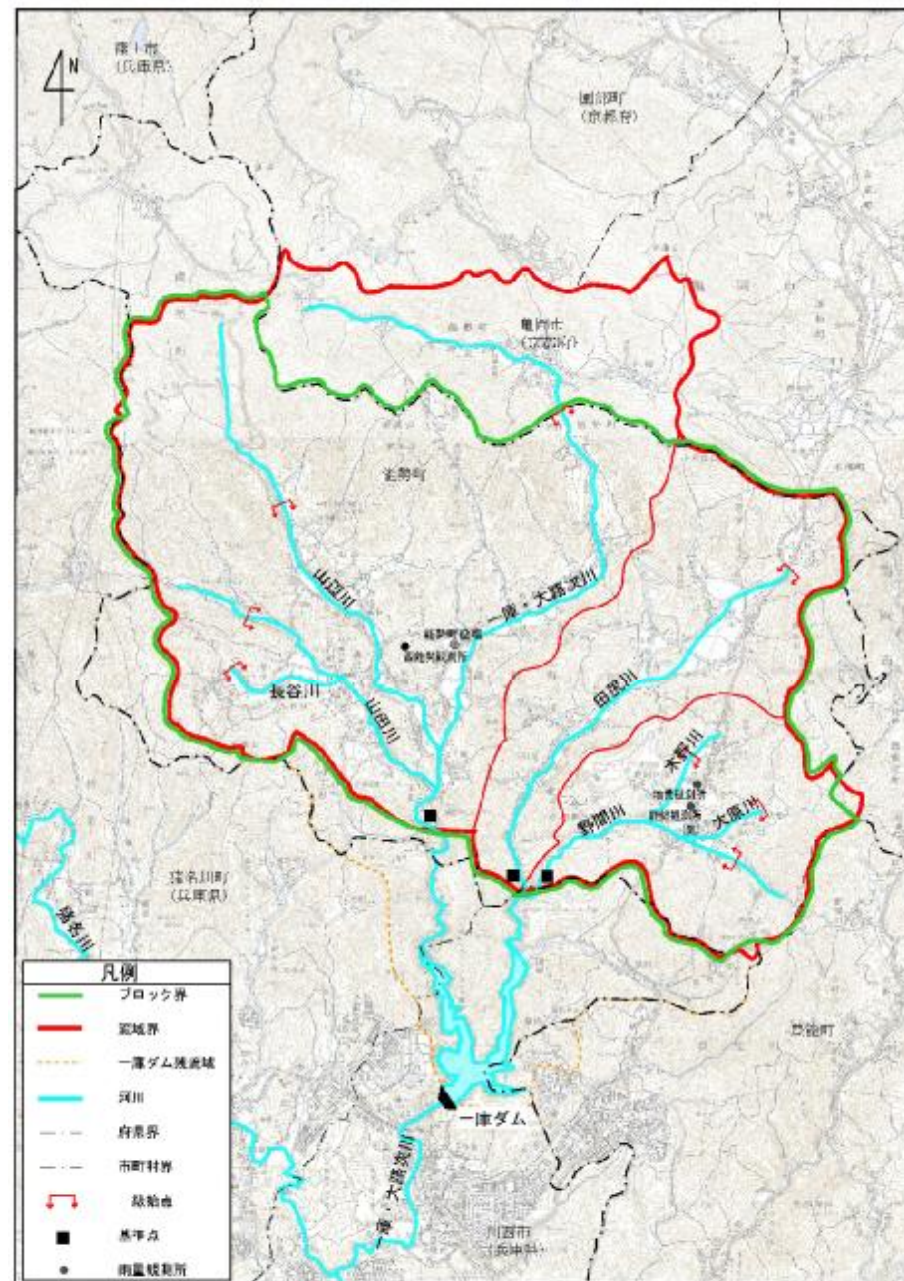
猪名川下流ブロック流域図



# 1.猪名川上流ブロックの現状（(1)ブロックの概要）

猪名川上流ブロックは北摂山地にその源を発し、一庫ダム湖である知明湖に注ぎ込む一庫大路次川、田尻川、野間川の流域から構成されています。それぞれの流域面積は一庫・大路次川63.1km<sup>2</sup>、田尻川18.2km<sup>2</sup>、野間川12.9km<sup>2</sup>となっており、流路延長は一庫大路次川で14.5km（うち一級河川指定区間流路延長10.4km）、田尻川で7.9km、野間川で3.7kmとなっています。流域は、豊能郡能勢町、豊能郡豊能町、京都府亀岡市の1市2町にまたがり、その大部分は、能勢山間盆地群と呼ばれる盆地地帯と北摂山地により構成されています。

流域のほとんどが市街化調整区域で、山林と水田が土地の大半を占め、大阪府の中でも、のどかな農村空間の広がる豊かな自然環境が残された地域の一つと言えます。



流域図（縮尺=1:100,000）

（出典：国土交通省国土地理院 1/5万地形区「広根」「園部」）



# 1.猪名川上流ブロックの現状 ((2)河川の概要：一庫大路次川・山辺川・山田川・長谷川)

一庫大路次川の川幅は15m～35mで、河床勾配は1/25～1/250となっており、沿川の一部には民家が連続している所もありますが、全体的には水田が多く、田園風景の中を緩やかに蛇行しながら流れています。河道は、ほとんどの区間において、ブロック積護岸で整備していますが、草本類で覆われており人工的なイメージは少なく、河床についても、堆積土砂などにより平常時は自然な川の流れが形成されており、瀬淵なども見られます。水際にはヨシ等の植生が見られ、自然豊かな景観が見られます。



一庫大路次川



① 名月橋より上流



② 鳥越橋より上流

山田川



③ 藤井橋より下流

長谷川



④ 樋詰橋より下流

山辺川

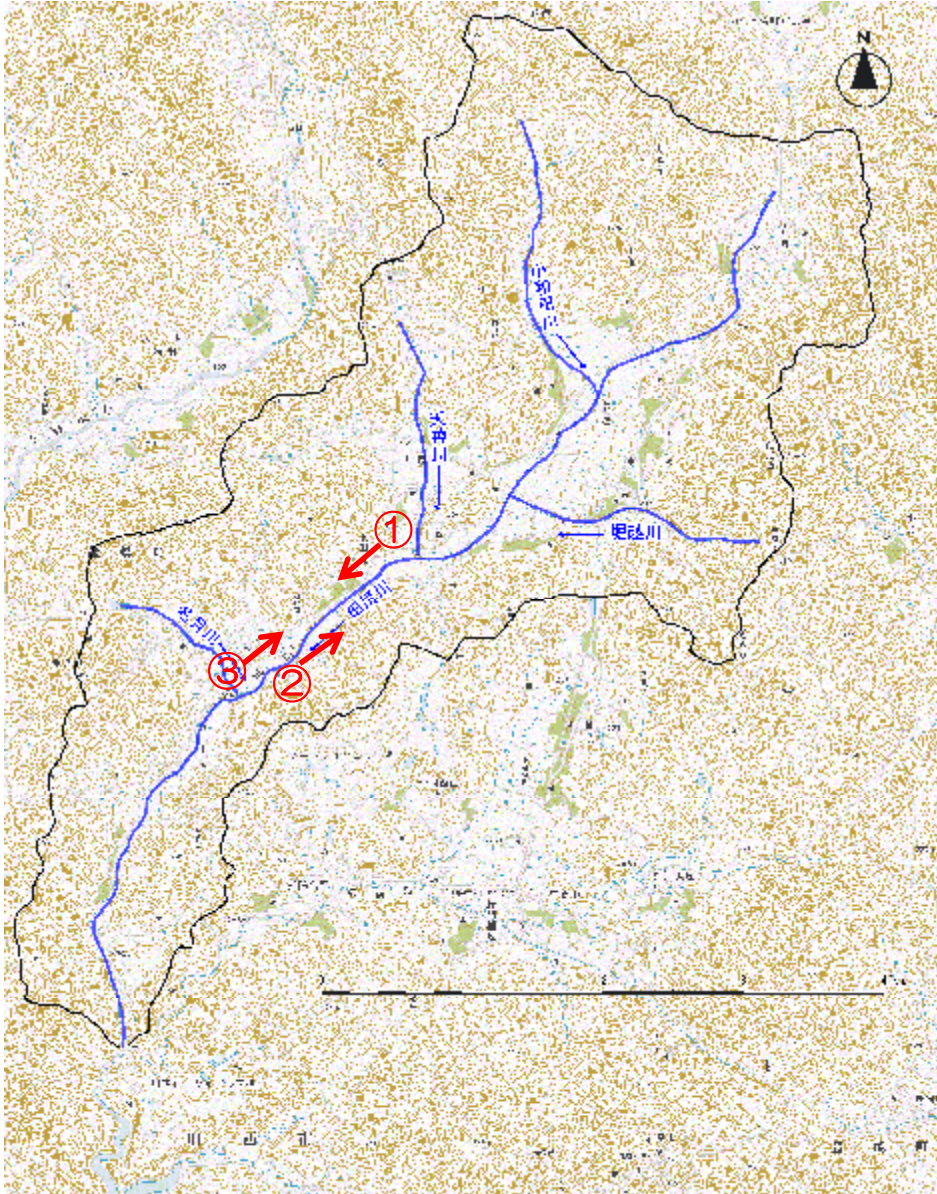


⑤ 柳橋より下流



# 1.猪名川上流ブロックの現状 (2)河川の概要：田尻川

田尻川の川幅は10m~27mであり、河床勾配は1/60~1/360となっており、一部の区間を除きほとんどが未改修となっています。沿川は水田利用が多く民家は点在している程度であるため、全川的にのどかな田園風景となっています。又、河道については、河川改修により一部直線的な形状となっていますが、改修されている大田橋付近においては、階段護岸を設置するなど親水性に配慮しており、川に容易に近づくことができます。河道内には、瀬淵が形成されていることや水際にはヨシ等の植生も多数見られることから、豊かな自然景観となっています。



田尻川



① 唐木橋より下流



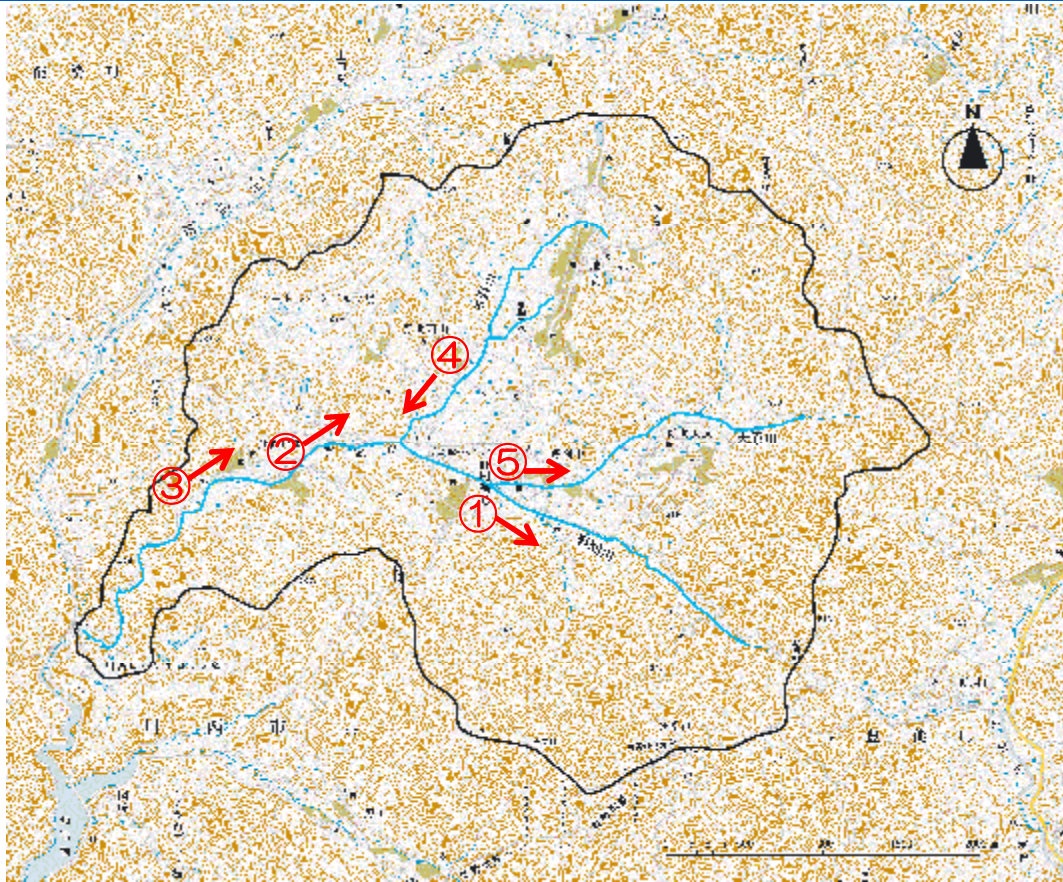
② 中田橋より上流



③ 大久保橋より上流



# 1.猪名川上流ブロックの現状 (2)河川の概要：野間川、木野川、大原川



野間川の川幅は15m~20mであり、河床勾配は1/40~1/360となっており、沿川は田尻川と同様に水田利用が多く全川的にのどかな田園風景が広がっています。河道については、石積護岸やブロック積護岸等で整備していますが、改修後かなりの年月が過ぎており、護岸の老朽化が目立ちます。護岸は草本類で覆われ、又水際にはヨシ等の植生も多数見られることから、人工的イメージは少なくなっています。野間川においても、一庫・大路次川同様に堆積土砂が多く、夏から秋にかけては、河道一面にヨシが繁茂し、水面がほとんど見えなくなるところもあります。また、農業用水の取水のため、落差工が多数設置されており、ブロック内の他河川に比べ瀬淵の形成は比較的少なく、部分的には人工的な印象を受けるところもあります。

野間川



① 野間川橋より上流



② 野入橋より上流



③ 中島橋より上流

木野川



④ 盆橋より下流

大原川



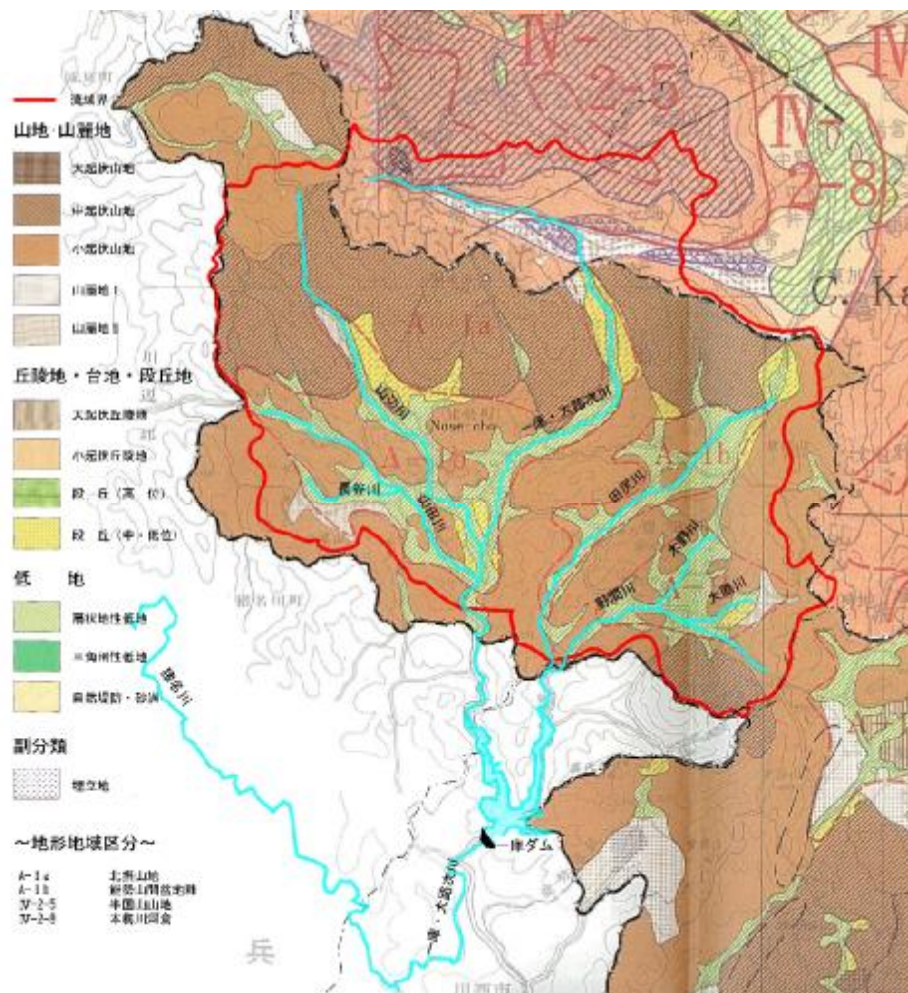
⑤ 大原川橋より上流



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(1)地形・地質）

猪名川上流ブロックの地形は、北摂山地と呼ばれる山地地形で、大部分は中起伏または小起伏山地で占められ、河川沿いには扇状地状の平地と中・低位段丘が分布しています。平地は、一庫・大路次川、田尻川、野間川等の浸食、運搬、堆積作用によって形成されたもので、標高は平地でも約200mに達します。集落は、盆地の低地とその周辺を取り囲む山麓緩傾斜面に散在しています。

地質は、固結堆積岩の砂岩、泥岩および花崗岩が主に分布しており、流域西部の兵庫県界付近には火山性岩石の流紋岩質岩石も確認できます。河川沿いの平地は沖積砂層、礫層で構成されています。また、田尻川の中流部や、その他の河川の上流端付近においては断層がみられます。



地形分類図

出典：土地分類図（国土庁土地局）（S48. 49）

## 2.猪名川上流ブロックの特性（(2)自然環境）

### （1）魚類

現地調査資料が存在するのは8河川のうち一庫大路次川、田尻川、野間川の3河川において、合計6科16種の魚類が確認されています。

河道内に連続して形成された瀬や淵にカワムツ、オイカワ、カワヨシノボリが多数確認されており、ドンコの生息も確認されています。また、既に護岸が改修された区間においても水際にはヨシが多数みられることから、近年かなり個体数が減少しているギギ（準絶滅危惧種に指定）やイトモロコ（絶滅危惧Ⅱ類に指定）などをはじめ、水質の良い河川に生息するムギツク（絶滅危惧Ⅱ類に指定）などの魚類も確認されています。また、田尻川では、灌漑用水路や水田にも生息するタモロコ（準絶滅危惧種に指定）も確認されています。

猪名川上流ブロックにおいて注目すべき水生生物



ムギツク



ドンコ



シマドジョウ

分類	種名	RLカテゴリー	確認箇所	
魚類	ムギツク	大阪府RL絶滅危惧Ⅱ類	一庫大路次川、野間川	
	イトモロコ	大阪府RL絶滅危惧Ⅱ類	一庫大路次川	
	スジシマドジョウ (確認)	(小型種淀川型) 大阪府RL絶滅危惧Ⅱ類 環境省RL絶滅危惧ⅡB類	一庫大路次川	
		(中型種) 大阪府RL絶滅危惧Ⅱ類 環境省RL絶滅危惧Ⅱ類		
	シマヨシノボリ	大阪府RL情報不足		
		タモロコ	大阪府RL準絶滅危惧	田尻川
		ドジョウ	大阪府RL絶滅危惧Ⅱ類 環境省RL情報不足	田尻川
	ギギ	大阪府RL準絶滅危惧	田尻川	



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(2)自然環境）

### （2）両性類

一庫大路次川や野間川などでは、主に山間溪流に生息する国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオ（絶滅危惧Ⅱ類に指定）が確認されています。



オオサンショウウオ

猪名川上流ブロックにおいて注目すべき水生生物

分類	種名	RLカテゴリー	確認箇所
両生類	オオサンショウウオ	文化財保護法特別天然記念物 大阪府RL絶滅危惧Ⅱ類 環境省RL絶滅危惧Ⅱ類	一庫大路次川、野間川、山田川、山辺川、 田尻川、大原川

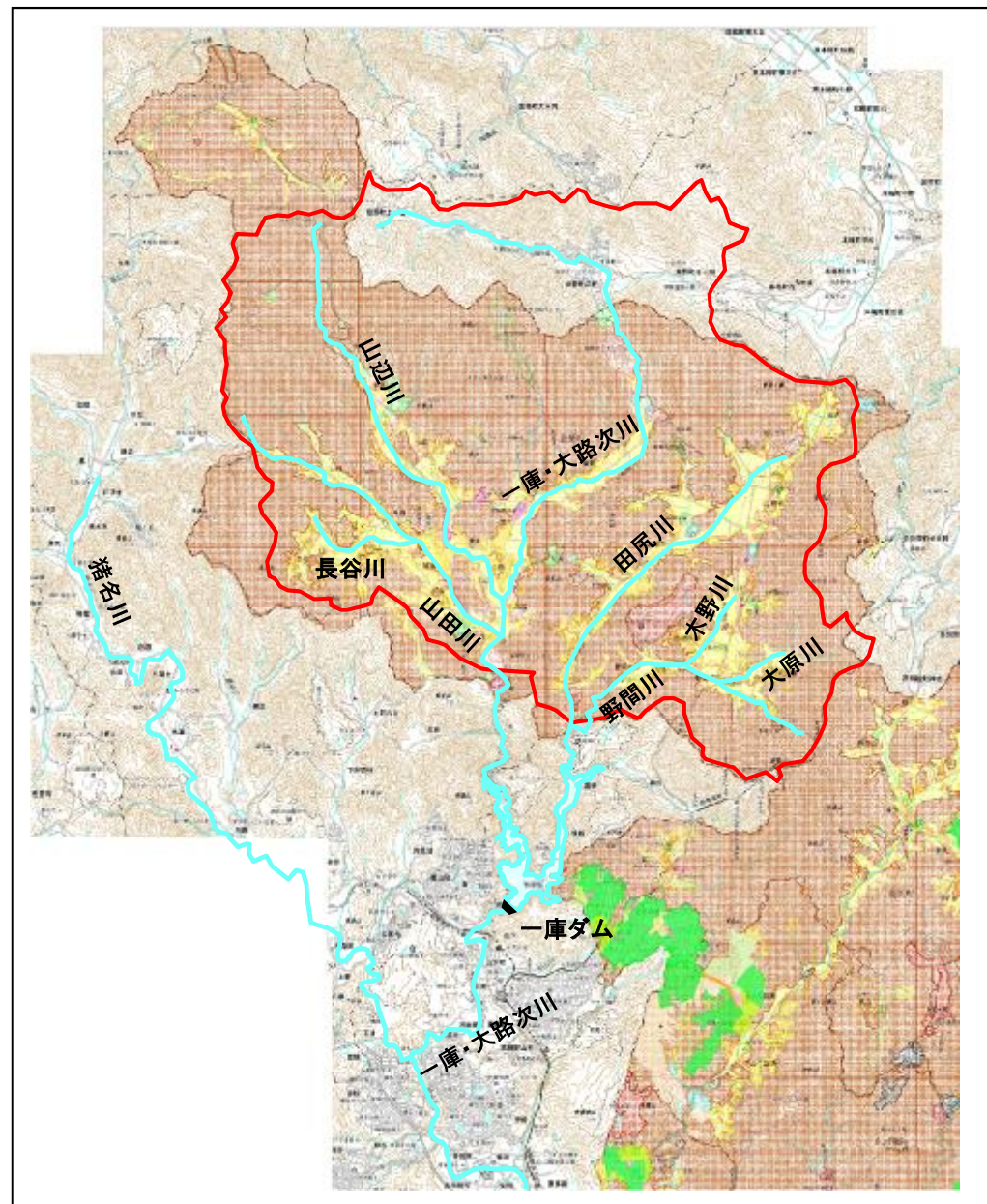


モリアオガエル

## 2.猪名川上流ブロックの特性（(3)土地利用）

土地利用は、大部分が山林で占められ、比較的傾斜の緩い山麓斜面は果樹園となっています。谷筋の各河川沿いの平地は水田として利用されており、能勢米として地域の特産品となっています。また、集落も河川に沿って点在しており、これを結ぶ各道路も河川と平行して谷筋を通っています。なお、市街化区域が、一庫・大路次川流域の国道173号から府道宿野・下田線に沿って指定されています。また、田尻川・木野川の流域界にはゴルフ場もみられます。

市街地	一般市街地	
	商業集積地	
	官公署	
	工場地	
	集落地	
普通緑地	公園・緑地	
	運動場・公園	
	学校(土地利用種)	
	社寺敷地・公園庭園	
	墓地	
農地	田・休耕地	
	畑	
	山林	
	原野・牧野	
	水田	
	低湿地・草場	
	公共施設	
	道路・軌道施設	
	その他	



出典：大阪府地図情報提供システム  
土地利用図（平成17年度作成）

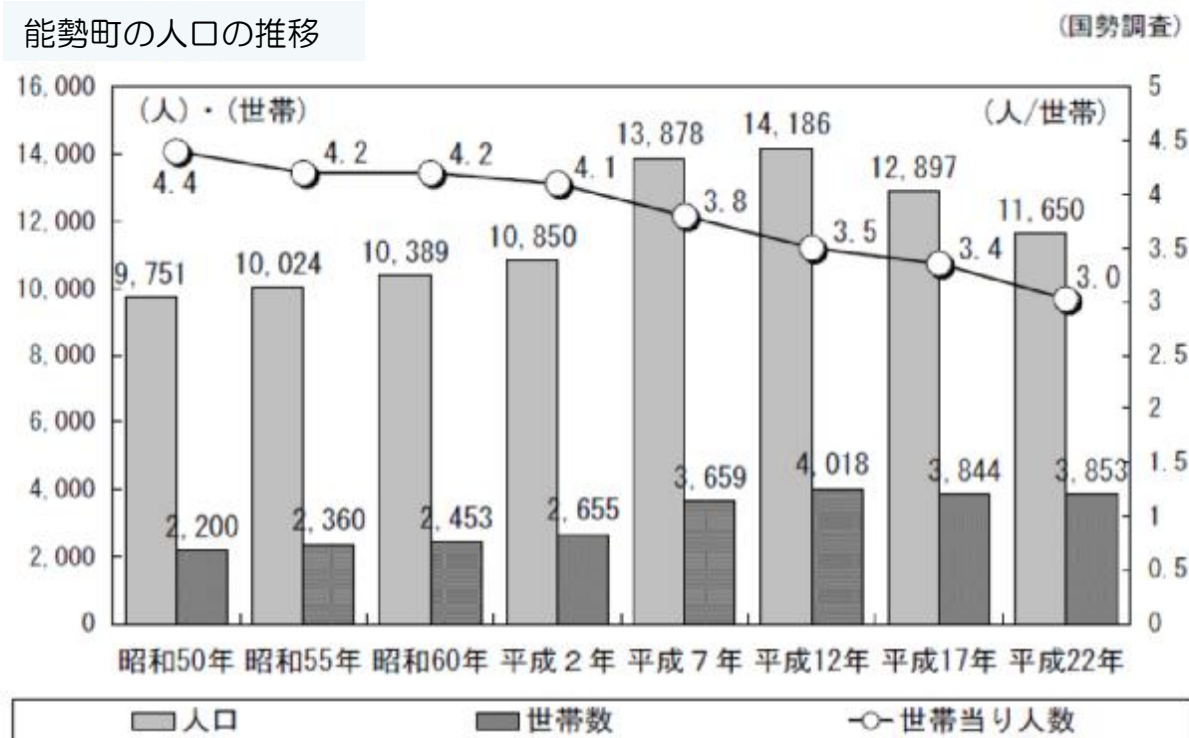


## 2.猪名川上流ブロックの特性（(4)社会特性（人口））

対象流域のほとんどを占める能勢町の人口は、昭和60年頃までは一万人程度で推移してきましたが、それ以降は漸増傾向にあり、平成12年度の国勢調査では、1万4千人となっています。

この背景には、平成3年に都市計画区域に編入され、さらに平成7年に市街化区域と市街化調整区域に区分されたことを受け、宅地開発が行われたことなどが考えられ、平成2年から平成7年の5年間で人口は3割増となっています。

近年の能勢町の人口は、減少傾向にあるものの、世帯数は増加しています。



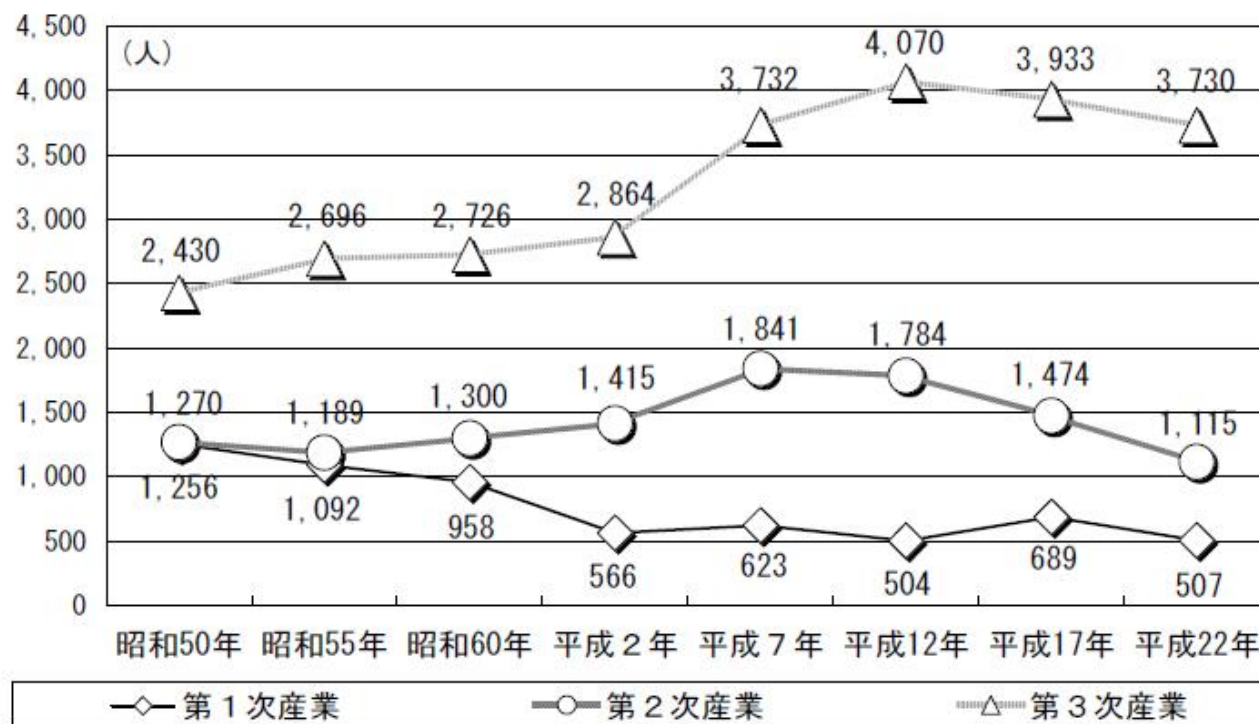
出典：能勢町HP（都市計画マスタープラン）

## 2.猪名川上流ブロックの特性（(5)社会特性（産業））

産業について、平成22年国勢調査の従業者数で見ると、約5,400人のうち約70%を第三次産業が占め、第二次産業は約20%、第一次産業は約10%という割合となっています。

○産業別就労者数の推移

(国勢調査)

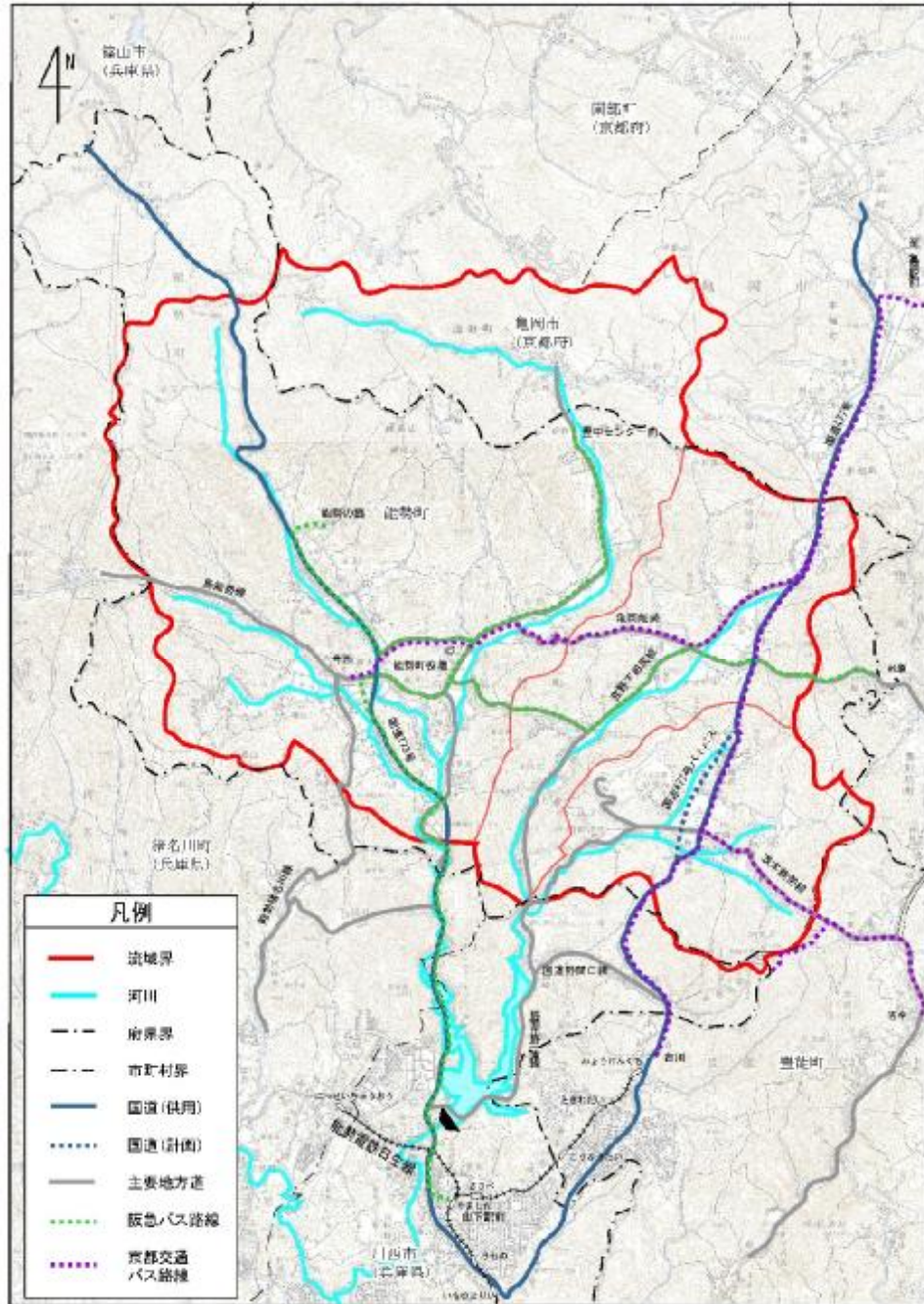


一次産業：農林漁業  
 二次産業：鉱業、建設業、製造業  
 三次産業：電気・ガス・熱供給・水道業、  
 運輸・通信業、卸売・小売業・  
 飲食店、金融・保険業、不動産  
 ……

出典：能勢町HP（都市計画マスタープラン）



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(6)社会特性（交通））



流域内には鉄道がなく車が主な移動手段となっています。公共交通機関は、阪急バス、京都交通の2社によって運行されており、能勢電鉄山下駅(川西市)、能勢電鉄妙見口駅(豊能町)等から能勢町内の各地域を連絡しています。道路網では、南北方向に国道173号、国道477号の2本の幹線道路、東西方向に府道茨木能勢線、府道亀岡能勢線を軸として構成されています。国道173号は、ブロックの南で大阪方面に通じる国道176号と繋がっており、北では、山陰・若狭方面に通じる国道9号や国道27号に繋がっています。国道477号も同様に南北に延び、南では大阪方面と連絡し、北では京都府亀岡市に通じていますが、交通量がこの10年間で約1.5倍に増えていることや、地黄地内で非常に狭隘な区間があるため、木野川の河川改修やほ場整備事業と合わせてバイパス道路の整備が実施されています。



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(7)社会特性（文化財））

能勢地方は、古来より丹波方面から池田・大阪方面を結ぶ『能勢街道』とよばれる街道筋にあたります。この街道は、北摂地方と大阪を結ぶ経済的動脈として重要性を持つとともに、近世中期以降は「能勢の妙見さん」として広く日蓮宗徒の信仰を集めた妙見山への参詣路としてにぎわっていました。この能勢街道は、時代により経路は異なっていたようですが、明治中期には現在の大阪市より川西市山下を経て野間に至り、山間盆地の地黄から倉垣、吉野を経て京都府亀岡市に入り山陰道に接続していたようです。

本流域には、国指定の重要文化財として今養寺木造大日如来坐像があるほか、府指定や町指定の文化財も多数存在しています。また、大規模な開発がされなかったことから、国の天然記念物に指定されている野間の大けやきをはじめ、妙見山のぶな林や倉垣天満宮のいちよう等の府指定の天然記念物も多数存在しています。

また、江戸後期の文化年間（1804～1817年）に能勢から大阪にでた村人が、流行の義太夫節を聞き覚えて帰り、村で語るところからやがて、稽古屋で習い、酒席で披露するなどといったところから普及してきたと云われる「能勢の浄瑠璃」は、平成11年に国の無形民俗文化財記録選択となり、能勢町でも浄瑠璃シアターを建設しその保存に努めています。



野間の大ケヤキ

流域内の文化財



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(7)社会特性（文化財））

### 国指定重要文化財

種別	名称	所在地	所有者（管理者）
1 有形（彫刻）	今養寺 木造大日如来坐像	野間西山312	今養寺

### 国指定天然記念物

種別	名称	所在地	所有者（管理者）
2 記念物（天然記念物）	野間の大櫛	野間稲地266	野間神社 管理すべき 地方公共団体：能勢町

### 府指定有形文化財

種別	名称	所在地	所有者（管理者）
3 有形（建造物）	蓮華寺 石造五輪塔	今西203-5	蓮華寺
4 有形（建造物）	能勢東郷城山 石造九重塔	地黄城山 南麓	能勢頼貞
5 有形（建造物）	清普寺（本堂・庫裏・表門・鐘楼） 附：能勢家墓地内 五輪塔、宝塔、笠塔婆、板碑	地黄815	清普寺
6 有形（彫刻）	今養寺 木造千手観音立像	野間西山312	今養寺
7 有形（彫刻）	今養寺 木造釈迦如来坐像	野間西山 312	今養寺
8 有形（彫刻）	安穩寺 木造十一面観音立像	倉垣1170	安穩寺
9 有形（彫刻）	涌泉寺 木造多宝如来坐像	倉垣1773	涌泉寺
10 有形（彫刻）	吉野2号墳出土の鉄刀	宿野29	能勢町教育委員会
11 有形（工芸品）	真如寺 銅鐘	地黄606	真如寺
12 有形（古文書）	能勢家文書 附：系図1巻	地黄606	真如寺

### 府指定記念物

種別	名称	所在地	所有者（管理者）
13 記念物（史跡）	月峯寺跡	宿野437	能勢町
14 記念物（名勝）	長杉寺庭園	天王441-1	長杉寺
15 記念物（天然記念物）	倉垣天満宮の いちよう	倉垣989 天神社境内	
16 記念物（天然記念物）	八坂神社のしい	長谷古野117 八坂神社境内	
17 記念物（天然記念物）	天王のあかがし	天王94	天王区
18 記念物（天然記念物）	妙見山のぶな林	野間中316・317 妙見山境内	関西身延真如寺 能勢妙見山

### 町指定有形文化財

種別	名称	所在地	所有者（管理者）
19 有形（建造物）	野間中地藏一尊 自然種子板碑	野間中544	野間中（野間中区长）
20 有形（建造物）	慈眼寺 宝篋印塔	神山286	慈眼寺（田中峻岡）
21 有形（建造物）	長谷サイノカミ峠 寛文11年の道標	長谷301-1	長谷区（長谷区长）
22 有形（彫刻）	玉泉寺 木造薬師如来坐像	山辺1438	玉泉寺（森鼻正道）
23 有形（彫刻）	桂林寺 木造釈迦如来坐像	宿野264	桂林寺（藤田信樹）
24 有形（彫刻）	涌泉寺 木造大威徳明王坐像	倉垣1773	涌泉寺（山口法博）
25 有形（考古資料）	野間中古墳出土の銅鈴	地黄399	野間神社
26 有形（考古資料）	吉野2号墳出土の鉄刀	宿野29	能勢町教育委員会
27 有形（書籍典籍文書）	能勢家関係文書	地黄606	真如寺（植田観樹）

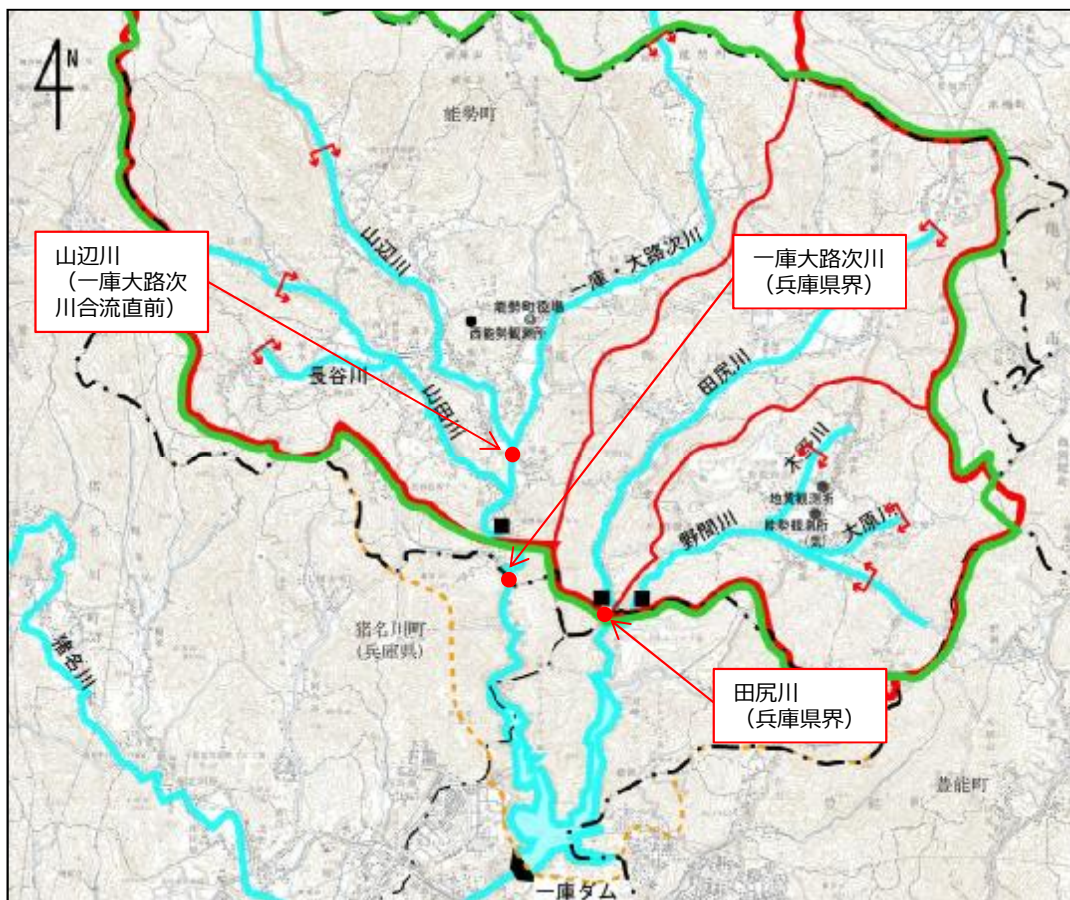
出典：能勢町HP（平成26年8月現在）

## 2.猪名川上流ブロックの特性（(8)水環境（水質））

水質については、対象流域のほとんどが、山地や水田で構成されており、宅地が全体面積に比べ非常に少なく、川への生活排水の流入が比較的少ないことから、水質観測地点のある一庫大路次川、田尻川、山辺川では、水質環境類型（A型）を満足しています。

一庫大路次川、田尻川、山辺川のBOD75%\*値測定結果

河川名	範囲	環境基準	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	平均値
田尻川	兵庫県界より上流	A	0.9	1.2	1.3	1	0.8	0.8	0.8	0.6	0.8	0.9	0.91
一庫大路次川	京都府界から兵庫県界まで	A	0.8	0.8	1.2	1	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.9	0.84
山辺川	全域	A	0.6	0.7	1.1	0.8	0.6	0.8	0.6	0.7	0.8	0.7	0.74



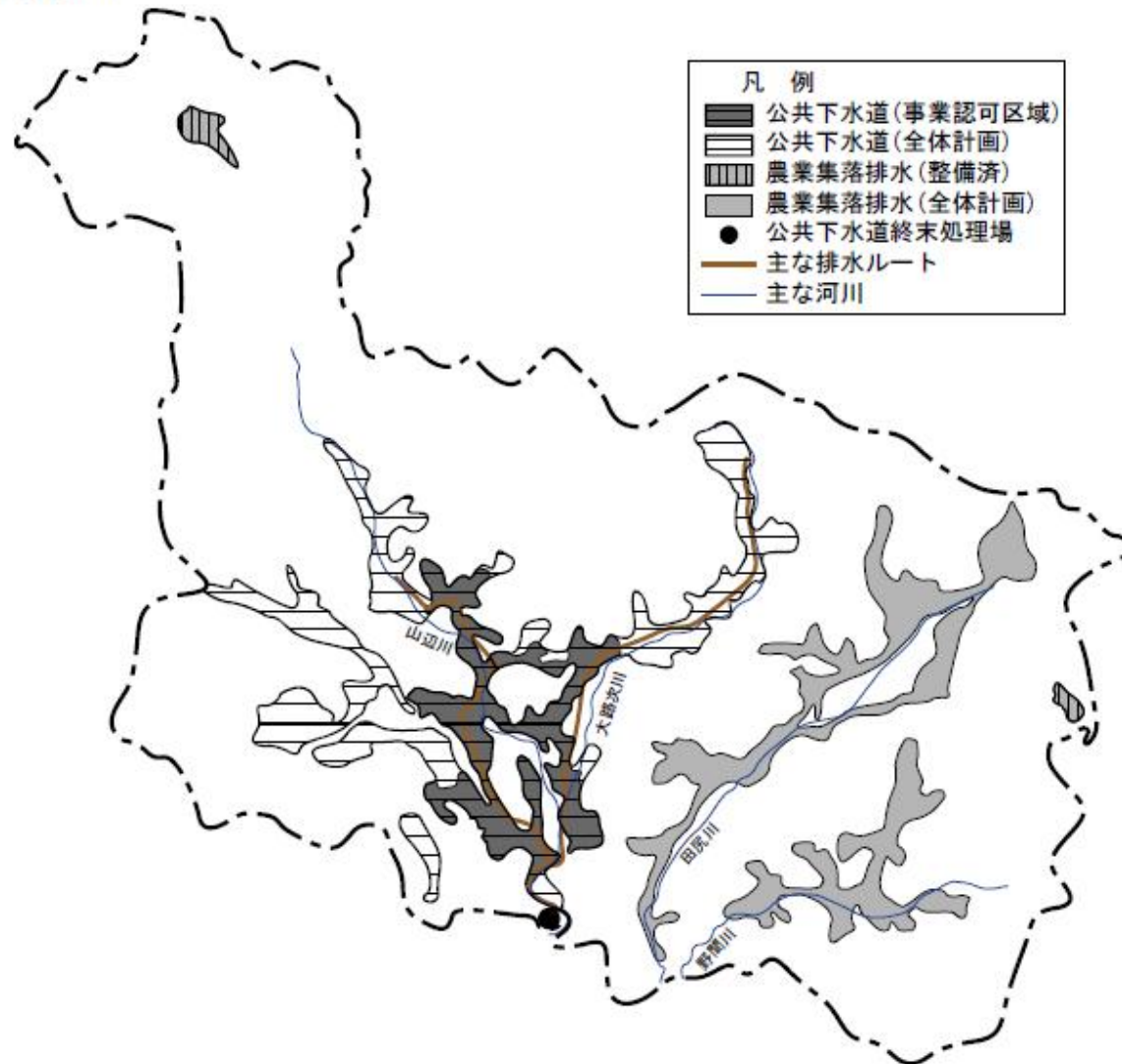
\*環境基準（BOD,単位mg/L） A類型：2.0mg/L  
 ※ BODが1年間の内、水質の良いほうから75%となる値であり、BODに係る環境基準の指標となっています。数値は暫定値。



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(9)水環境（下水道整備））

能勢町の下水道普及率（汚水）は、平成25年度末時点で20.9%であり、大阪府域全体の下水道普及率（汚水）95.3%に比べて低い状況です。今後、地域の意向などを踏まえ、計画的な整備促進が図られる予定です。

○下水道構想図

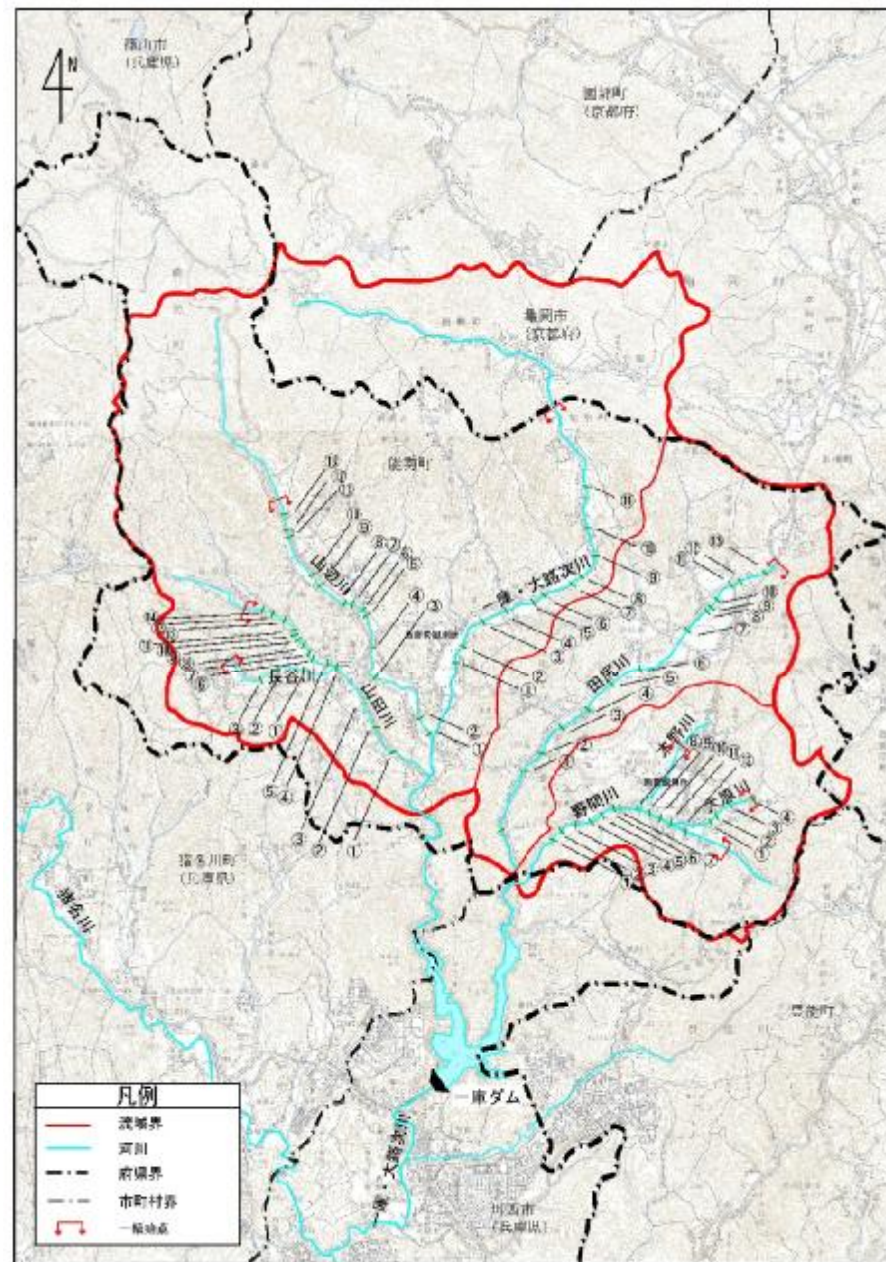


## 2.猪名川上流ブロックの特性（(10)水利用）

河川水は、古くから農業用の灌漑用水として利用されています。

慣行水利権一覧表

河川名	番号	施設名称	河川名	番号	施設名称
一庫大路次川	①	柏原井堰	山辺川	①	福井井堰
	②	山百合井堰		②	二又井堰
	③	大橋井堰		③	柳原井堰
	④	延角井堰		④	八斗田井堰
	⑤	岡井堰		⑤	中島井堰
	⑥	ウルシ井堰		⑥	余野井堰
	⑦	訳井堰		⑦	茂井井堰
	⑧	高井堰		⑧	久保井堰
	⑨	天神井堰		⑨	今中井堰
	⑩	車井堰		⑩	石風呂井堰
	⑪	石船井堰		⑪	一の手井堰
田尻川	①	下ノ前井堰	⑫	又井手井堰	
	②	鳳蓮寺井堰	⑬	砂原井堰	
	③	古川井堰	⑭	上和井堰	
	④	つくちの井堰	①	垣内田井堰	
	⑤	車井堰	②	巡礼井堰	
	⑥	地藏井堰	③	久保井堰	
	⑦	三反田井堰	④	溝の上井堰	
	⑧	大井根井堰	⑤	清水井堰	
	⑨	久保田井堰	⑥	内河原井堰	
	⑩	出合井堰	⑦	久手井堰	
	⑪	笹壁井堰	⑧	柳井手井堰	
	⑫	八月坪井堰	⑨	垣内井堰	
	⑬	石橋井堰	⑩	淵井堰	
野間川	①	柏の木原下井堰	⑪	森の井堰	
	②	中島井堰	⑫	井戸の井堰	
	③	貝尻井堰	⑬	湯小屋の井堰	
	④	中井堰	⑭	溝の下井堰	
	⑤	中河原井堰	①	カコス井堰	
	⑥	山添井堰	②	コウタ井堰	
	⑦	下安田井堰	③	西田井堰	
	⑧	滝ケ尻井堰	①	今川下井堰	
	⑨	森井堰	②	今川上井堰	
	⑩	河原井手井堰	③	才の本井堰	
	⑪	広子井堰	④	上芝田井堰	
	⑫	寺前井堰	合計	71	



流域図（縮尺=1：100,000）

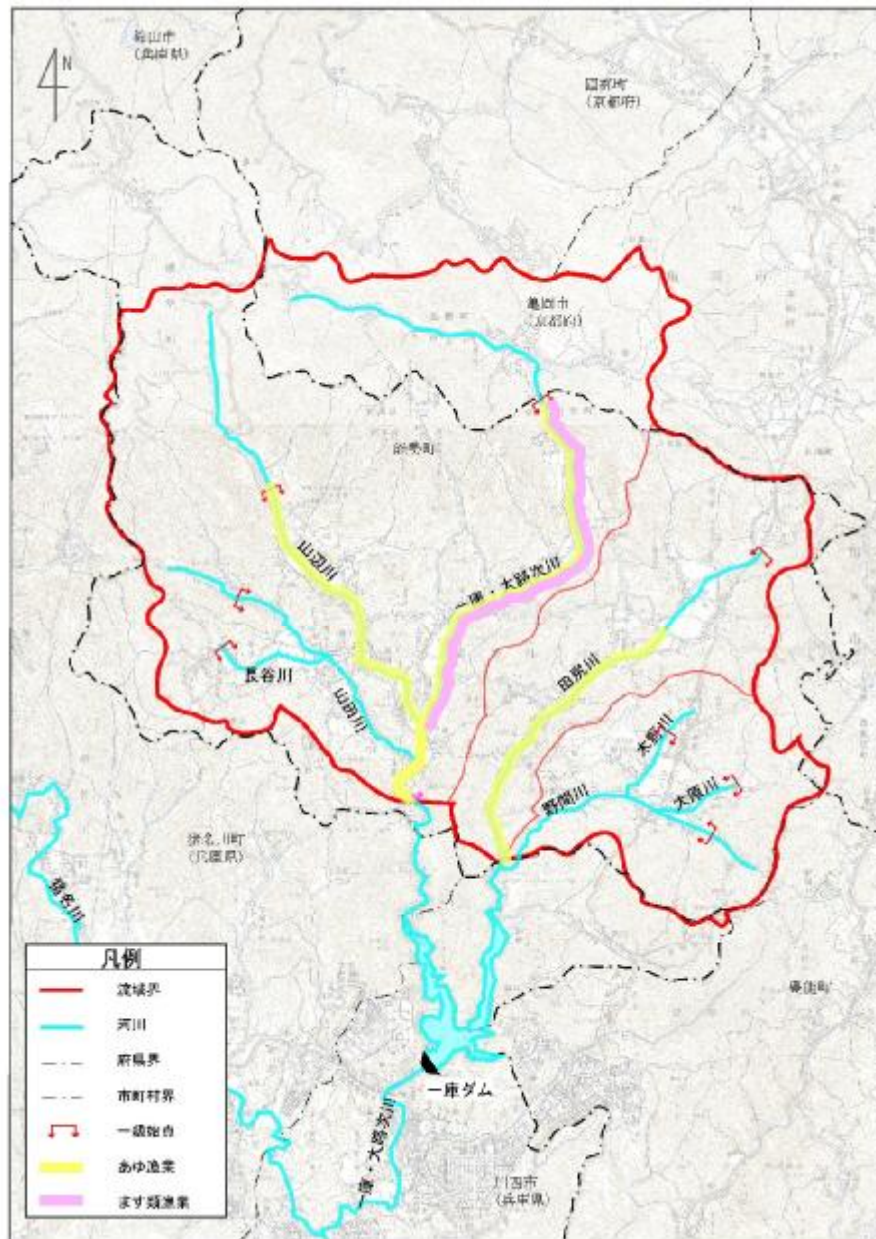
（出典：1/5万地形図「広根」「園部」 国土交通省国土地理院）

出典：農業用水実態調査表（H11年3月）



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(11)河川空間利用）

河川空間の利用状況としては、河原でバーベキュー等をする姿も見かけられます。  
その他、一庫・大路次川と田尻川においては、あゆとます類の内水面漁業が許可され、釣堀として利用されています。



一庫大路次川のマス釣りの状況



## 2.猪名川上流ブロックの特性（(12)アドプト・リバー・プログラム）

猪名川上流ブロックでは、1件のアドプト・リバープログラムに登録されており、河川の清掃などが行われています。

番号	名称	団体名	認証年月日
1	アドプト・リバー・大路次	大路次の会	H22.1.14





### 3.治水事業の概要（(1)浸水被害）

猪名川上流ブロックでは、本流域は、南向き斜面という地勢上の特徴により、梅雨、秋雨前線により南から湿った空気が流入したり、台風が南方から来襲した際に、たびたび集中豪雨となり、急峻な地形とあいまって過去に幾度となく水害に見舞われました。

昭和13年7月の洪水は、『阪神大水害』と呼ばれるほど、記録的な大豪雨で能勢町内において17名の死者が出ました。この洪水では、特に妙見山及び奥の院といった町南東部地域の各所で山崩れが発生し、土石流となって野間川、木野川、大原川流域に大きな被害が発生しました。この洪水を契機として、昭和15年5月に一庫・大路次川、田尻川、野間川などが準用河川の指定を受け、治水対策がはじまりました。

戦後においても相次いで洪水が発生しており、昭和28年9月の集中豪雨及び台風13号による洪水で、山辺川や野間川で堤防が決壊し、多数の家屋が浸水するなど大きな被害が発生しました。又、昭和35年8月の台風16号では、町内全域で記録的な豪雨となり、死者3名、家屋全・半壊17戸、床上浸水59戸、床下浸水432戸という大きな被害が発生し、更に、昭和36年9月の第二室戸台風においても山地崩壊による土砂流出や堤防の決壊による浸水が起り、家屋、田畑に被害が出ました。

また、近年では、平成26年8月の台風11号などによる農地冠水などの被害が発生しています。

過去の主な洪水の記録（昭和以降、昭和46年まで）

発生年月日	災害原因	能勢町における被害
昭和13年 7月4日～5日	阪神大水害	町内各地で山津波・堤防決壊発生
昭和20年 10月8日～9日	集中豪雨	山辺川が決壊し、田畑に大きな損害
昭和25年 9月3日	ジェーン台風	・東郷で氾濫 ・町内で半月停電
昭和28年 9月1日	集中豪雨	・山辺川が増水し、家屋多数浸水 ・山崩れ300箇所
昭和28年 9月28日	台風13号	・家屋、耕地、橋梁、堤防、道路、林野に大被害 ・交通寸断され、町が孤立
昭和35年 8月29日～30日	台風16号	・町内全域で記録的豪雨 ・死者3人、重軽傷者2人、家屋全壊7戸、半壊10戸、床上浸水59戸、床下浸水432戸
昭和36年 9月16日	第二室戸台風	・死者1人
昭和46年 8月27日～9月13日	台風23号 台風25号 台風26号 秋雨前線	・初谷川有堤部溢水

### 3.治水事業の概要（(1)浸水被害）

#### 過去の主な洪水の記録（昭和47年以降）

発生年月日	災害原因	能勢町における被害
昭和47年 7月12日	集中豪雨	<ul style="list-style-type: none"> <li>一庫大路次川、野間川、長谷川、田尻川、木野川溢水</li> <li>床上浸水1戸、床下浸水8戸、農地浸水36.5ha</li> </ul>
昭和51年 9月7日～14日	台風17号	<ul style="list-style-type: none"> <li>田尻川、山辺川流域の堤防、道路などの被害</li> </ul>
昭和58年 9月30日	台風10号	<ul style="list-style-type: none"> <li>木野川流域で浸水家屋14戸、農地浸水10ha</li> </ul>
昭和61年 5月13日～7月24日	梅雨期豪雨	<ul style="list-style-type: none"> <li>山辺地区を中心に、通信施設、道路、堤防などの被害</li> </ul>
平成元年 9月10日	台風19号	<ul style="list-style-type: none"> <li>木野川流域で浸水家屋5戸、農地浸水1ha</li> </ul>
平成10年 9月	台風7号 台風8号	<ul style="list-style-type: none"> <li>田尻川、歌垣橋下流で堤防が決壊</li> </ul>
平成26年 8月	台風11号 集中豪雨	<ul style="list-style-type: none"> <li>田尻川、歌垣橋下流で農地浸水、府道、下田尻吉野線が通行止め</li> </ul>



#### 平成26年8月の雨量記録（地黄）

時間	時間雨量
9:00～11:00	17mm
10:00～11:00	32mm
11:00～12:00	33mm
12:00～13:00	14mm

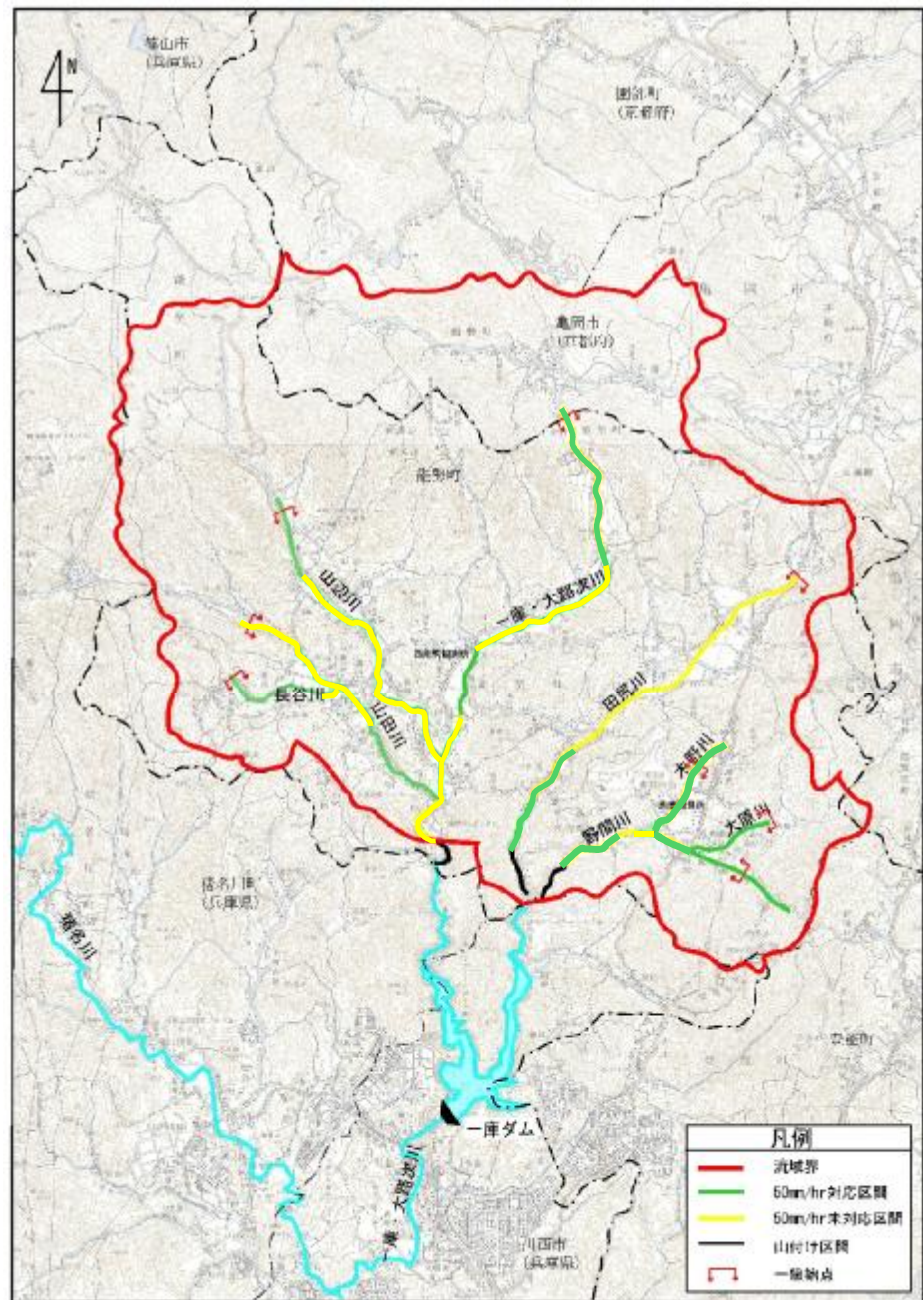
台風11号による田尻川地蔵橋付近の状況（平成26年8月）



### 3.治水事業の概要（(2)治水上の課題）

猪名川上流ブロックの河川は、一庫大路次川、山辺川、山田川、長谷川、田尻川、野間川一部区間において、現況の治水安全度が1/10年に満たない箇所があるため、治水安全度の向上をはかる必要があります。

なお、木野川、大原川については1/10年の治水安全度が確保されています。



\* 洪水リスク表示図より

改修状況図（縮尺=1：100,000）  
（出典：国土交通省国土地理院 1/5万地形図「広根」「園部」）

### 3.治水事業の概要（(3)治水事業の沿革（ソフト対策））

大阪府では、人命を守ることを最優先に、様々な降雨により想定される河川の氾濫や浸水の可能性を府民にわかりやすく提示することを目指した「洪水リスク表示図」を公表しています。

洪水リスク表示図（大阪府HP）



洪水リスク表示図

